

若鮎の子

平成二十九年年度

チーム安波小学校の始まり

「入学認定」
 新入生 村山史花 1名
 国頭村立安波小学区への
 入学を認定する
 平成二十九年四月七日
 国頭村立安波小学校
 校長 宮城尚志



様の多くの喝采の中で迎えられ、村山家ご家族の皆様も安心できたのではないのでしょうか。
 入学式当日は、1名の新入生を職員、在校生、保護者の皆様、来賓や地域方々総勢五十名余の人々に

今年度の新入生は村山先生の長女の史花さん。去年まで単身赴任で頑張っていた久志先生のご家族が今年度より家族全員で安波区に住むことになりました。入学式の当日には区長さんや民生委員、保護者、さらに地域の皆さんもご家族の皆様が

迎えられ、校長としても感謝と感激に思いが募ります。

さて、今年度、新たな新入生を向かえ、チーム安波小学校が船出しました。

下の写真、村山家を支える子ども達とその保護者の皆様です。

「幸せはもらえるものではなく、創りあげいくものである。」という。しかし、人間は

孤立しては幸せを追い求めることすらできません、村山家が「幸せ」を獲得するためには、周囲の皆様の見守りや支えが必要となってくるのです。それがチームなのです。それぞれの家族の幸せを、それぞれの家族が協力して支え合う。誰もが有する「幸福追求」の権利を、みんなで支え合い達成できるように、地域の方々などすべての人が関わる心が肝心となってきます。0歳児の双子ちゃんを含めた村山家の多幸へのご支援とご協力よろしくお願いいたします。

新任職員の紹介



名護市立真喜屋小より
宮城賢士教頭先生



本部町立本部小より
金城良子（養護教諭）



校長 入学式辞より抜粋

ヒトが育つとは、その人に幸福をもたらすものでなければなりません。史花さんが愛情を持って人と接し、関係を築き、大切な友達を持つことによってが史花さんの未来の幸福が約束されていきます。

一人ひとりの幸せ、それぞれの家族の幸せが、地球環境の一番大切な要素であることを我々は忘れてはいけません。

子どもは勝手に育ちません。子供は、大人が育てたように育ちます。

☆ 励ましを受けて育った子は自信を持ちます。
 ☆ ほめられる中で育った子は、いつも感謝することを知ります。

今日から史花さんも安波小のかけがえのない一人になりました。みんなと一緒にみんなが楽しく、みんなが安心できる、保護者や地域の皆さんも安心して子供を預けられる、そんな学校づくり「真心の学校づくり」の一人として歩み始めていきます。・・・史花さん、ご家族の皆さん本日はほんとうにおめでとうございます。

安波小学校校長 宮城尚志

秘密基地

どんな大人も、ちいさい頃にその思いに駆られた記憶があるのではないだろうか。春休み数名のお父さんたちの協力を得ながら子ども達の秘密基地が完成しました。たくましい子ども達、優しいお父さん達の共同作業です。

